## my.cnf変更箇所リスト

| ※インデックスの最大文字列数も716パイトに    ※インデックスの最大文字列数も716パイトに    11 必須  | my.cnf変更箇所リスト |     |   |  |  |  |  |
|--|---------------|-----|---|--|--|--|--|
| 2  | No. 必須/参考     | 初期値 | astrollインストール後                                      | 備考   |  |  |  |
| 3  | 1 必須          | なし  | default_password_lifetime = 0                       |  |  |  |  |
| 4  | 2 必須          | なし  | log_timestamps=SYSTEM                               |  |  |  |  |
| 5  | 3 必須          | なし  | skip-character-set-client-handshake                 |  |  |  |  |
| 8 必須         なし         max.connections=100         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           7 必須         なし         self_mode=No_ENGINE_SUBSTITUTION_STRICT_TRANS_TABLES         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           8 必須         なし         immode_file_per_table         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           10 必須         なし         immode_file_format=Barracuda         Barracudaを指定することでDBファイルが圧縮されるため、パワーと引き換えに十分なパフォーマンスを引き出してれた。ペイプーと引き換えに十分なパフォーマンスを引き出してれた。ペイプーと引き換えにもかないフォーツを検討。           11 必須         なし         immode_file_format=Barracuda         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           12 参考         なし         immode_file_format=Barracuda         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           13 参考         なし         immode_file_file_size=128M         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           14 参考         なし         immode_file_size=128M         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           15 参考         なし         immode_file_size=128M         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           16 参考         なし         join_buffer_size=64M         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           17 参考         なし         max_allowed_packet=8M         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           18 参考         なし         read_buffer_size=32         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           20 参考         なし         query_cache_limit=16         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           22 参考   | 4 必須          | なし  | explicit_defaults_for_timestamp = true              |  |  |  |  |
| ### ACL   sql_mode=NO_ENGINE_SUBSTITUTION_STRICT_TRANS_TABLES   ### ACL   nnodb_buffer_pool_size = 256MB   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   nnodb_file_format=Barracuda   Barracudaを指定することでDBファイルが圧縮されるため、パワーと目き換えに十分なパフォーマンスを引き出してくれ、ポインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに   3を表  | 5 必須          | なし  | character-set-server = utf8                         |  |  |  |  |
| 8 必須 なし innodb_buffer_pool_size = 256MB astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 9 必須 なし innodb_file_per_table 10 必須 なし innodb_file_format=Barracuda 110 必須 なし innodb_file_format=Barracuda 111 必須 なし innodb_file_format=Barracuda 112 参考 なし innodb_log_buffer_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 113 参考 なし innodb_log_buffer_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 114 参考 なし innodb_log_file_size=128M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 115 参考 なし win_examined_row_limit=100 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 116 参考 なし join_buffer_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 117 参考 なし max_allowed_packet=8M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 118 参考 なし read_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 119 参考 なし read_rod_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 119 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 110 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 111 参考 なし read_rod_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 112 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 113 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 114 参考 なし read_rod_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 115 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 116 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 117 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 118 参考 なし read_rod_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 119 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 110 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 111 参考 なし max_pr_cursion_depth=20 MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。 111 から は max_pr_cursion_depth=20 MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。 112 を考 なし transaction=isolation=READ_COMMITTED Transaction=READ_COMMITTED | 6 必須          | なし  | max_connections=100                                 | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。  |  |  |  |
| 9 必須         なし innodb_file_per_table           10 必須         なし innodb_file_format=Barracuda         Barracudaを指定することでDBファイルが圧縮されるため、パワーと引き換えに十分なパフォーマンスを引き出してくれ、※インデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトにご           11 必須         なし innodb_large_prefix         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           12 参考         なし innodb_log_buffer_size=32M         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           13 参考         なし innodb_log_file_size=128M         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           14 参考         なし min_examined_row_limit=100         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           15 参考         なし pin_buffer_size=128M         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           16 参考         なし pin_buffer_size=64M         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           17 参考         なし max_allowed_packet=8M         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           18 参考         なし read_puffer_size=32         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           20 参考         なし read_puffer_size=32         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           21 参考         なし query_cache_limit=16         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           22 参考         なし query_cache_size=256M         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           23 参考         なし query_cache_size=32M         astrollの使い方に応じてチューニングを検討。           24 参考         なし max_sp_recursion_depth=20         MySQLのファンクランコンスクラム(Oran MySQLのファンクランボルトの合成レバル・のとりまでは、アーニングを検討。           26 必須         なし max_sp_recursion_  | 7 必須          | なし  | sql_mode=NO_ENGINE_SUBSTITUTION,STRICT_TRANS_TABLES |  |  |  |  |
| 10   必須   なし   innodb_file_format=Barracuda   Barracudaを指定することでDBファイルが圧縮されるため、パワーと引き換えに十分なパフォーマンスを引き出してれ、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックを検討。   | 8 必須          | なし  | innodb_buffer_pool_size = 256MB                     | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。  |  |  |  |
| ※インデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに   ※インデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに   ※ 表し   innodb large prefix   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   astrollの使い方に応じて   | 9 必須          | なし  | innodb_file_per_table                               |  |  |  |  |
| 12 参考   なし   innotb_log_buffer_size=32M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   Apy Opy Day Day Day Day Day Day Day Day Day Da   | 10 必須         | なし  | innodb_file_format=Barracuda                        | Barracudaを指定することでDBファイルが圧縮されるため、多少のCPU<br>パワーと引き換えに十分なパフォーマンスを引き出してくれる。<br>※インデックスの最大文字列数も716パイト→3017バイトに拡張される。        |  |  |  |
| 13 参考   なし   innodb_log_file_size=128M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   strollの使い方に応じてチューニングを検討。   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   Apstrollの使い方に応じてチューニングを検討。   Apstrollの使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使いためばいるとなるを使いためばいるとなるを使いためばいるとなるを使いためばいると   | 11 必須         | なし  | innodb_large_prefix                                 |  |  |  |  |
| 14 参考   なし   min_examined_row_limit=100   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   15 参考   なし   key_buffer_size=128M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   Astrollの使い方に応じてチューニングを検討を使い方に応じてチューニングを検討を使い方に応じてがらいるに対しては、   Astrollの使い方に応じてがらいるに対しては、   Astrollの使い方に応じてがらいるに対しては、    | 12 参考         | なし  | innodb_log_buffer_size=32M                          | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。  |  |  |  |
| 15   | 13 参考         | なし  | innodb_log_file_size=128M                           | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。  |  |  |  |
| 16   | 14 参考         | なし  | min_examined_row_limit=100                          | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。  |  |  |  |
| 17   | 15 参考         | なし  | key_buffer_size=128M                                | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。  |  |  |  |
| 8  | 16 参考         | なし  | join_buffer_size=64M                                | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。  |  |  |  |
| 19 参考   なし   read_rmd_buffer_size=32   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   20 参考   なし   sort_buffer_size=32   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   21 参考   なし   query_cache_limit=16   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   22 参考   なし   query_cache_size=256M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   23 参考   なし   query_cache_type=1   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   25 参考   なし   max_heap_table_size=32M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   25 参考   なし   tmp_table_size=32M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   Astrollの使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてディングを検討を使い方に応じてディングを検討を使い方に応じてディングを使い方に応じてディングを検討を使い方に応じてディングを使い方に応じてディングを使い方に応じてディングを検討を使い方に応じてデ   | 17 参考         | なし  | max_allowed_packet=8M                               | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。  |  |  |  |
| 20 参考   なし   sort_buffer_size=32   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   21 参考   なし   query_cache_limit=16   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   22 参考   なし   query_cache_size=256M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   23 参考   なし   query_cache_type=1   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   25 参考   なし   max_heap_table_size=32M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   25 参考   なし   tmp_table_size=32M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。   3 を   なし   max_sp_recursion_depth=20   MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。   3 を   なし   transaction-isolation=READ-COMMITTED   トランザクションの分離レベルを指定。  | 18 参考         | なし  | read_buffer_size=32                                 | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。  |  |  |  |
| 21 参考   なし query_cache_limit=16   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。         22 参考   なし query_cache_size=256M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。       23 参考   なし query_cache_type=1       24 参考   なし max_heap_table_size=32M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。       25 参考   なし tmp_table_size=32M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。       26 必須 なし max_sp_recursion_depth=20   MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。       27 必須   なし transaction-isolation=READ-COMMITTED   トランザクションの分離レベルを指定。       「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Ora_PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。       MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastratic SQL Server でデフォルトの分離レベル。       MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastratic SQL SQL Server でデフォルトの分離レベル。       MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastratic SQL  | 19 参考         | なし  |   |  |  |  |  |
| 22 参考   なし query_cache_size=256M   astrollの使い方に応じてチューニングを検討。         23 参考   |               |     | sort_buffer_size=32                                 |  |  |  |  |
| 23       参考       なし       query_cache_type=1         24       参考       なし       max_heap_table_size=32M       astrollの使い方に応じてチューニングを検討。         25       参考       なし       tmp_table_size=32M       astrollの使い方に応じてチューニングを検討。         26       必須       なし       max_sp_recursion_depth=20       MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。         27       必須       よし       transaction=isolation=READ=COMMITTED       トランザクションの分離レベルを指定。「READ=COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Ora PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。MySQLのデフォルトは「REPEATABLE=READ」であるがastri 針と合わないため変更する必要がある。   |               |     |   |  |  |  |  |
| 24     参考     なし     max_heap_table_size=32M     astrollの使い方に応じてチューニングを検討。       25     参考     なし     tmp_table_size=32M     astrollの使い方に応じてチューニングを検討。       26     必須     なし     max_sp_recursion_depth=20     MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。       27     必須     なし     transaction-isolation=READ-COMMITTED     トランザクションの分離レベルを指定。「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Ora PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastra 針と合わないため変更する必要がある。   |               |     |   | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。  |  |  |  |
| 25     参考     なし     tmp_table_size=32M     astrollの使い方に応じてチューニングを検討。       26     必須     なし     max_sp_recursion_depth=20     MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。       27     必須     なし     transaction-isolation=READ-COMMITTED     トランザクションの分離レベルを指定。「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Orat PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastri 針と合わないため変更する必要がある。   |               |     |   |  |  |  |  |
| April 20   MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。  |               |     |   |  |  |  |  |
| 27 必須 なし transaction-isolation=READ-COMMITTED トランザクションの分離レベルを指定。「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Orac PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastr 針と合わないため変更する必要がある。  |               |     |   |  |  |  |  |
| 「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Orac<br>PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。<br>MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastr<br>針と合わないため変更する必要がある。  |               |     |   |  |  |  |  |
| 25   参考   なし   validate-password=OFF   |               |     |   | 「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Oracle、PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。 MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastrollの利用方 |  |  |  |
|  | 25 参考         | なし  | validate-password=OFF                               |  |  |  |  |

## ansible.cfg変更箇所リスト

| an  | ible.cfg | <b>変更箇所リスト</b>  |  |            |
|-----|----------|---|--|------------|
| No. | 必須/参考    | 初期値   | astrollインストール後   | 備考         |
| 1   | 必須       | #inventory = /etc/ansible/hosts                             | inventory = /etc/ansible/hosts   | ※コメント解除    |
| 2   | 必須       | #remote_tmp = ~/.ansible/tmp                                | remote_tmp = ~/ansible/tmp   | ※コメント解除    |
| 3   | 必須       | #forks = 5  | forks = 5  | ※コメント解除    |
| 4   | 必須       | #poll_interval = 15   | poll_interval = 15   | ※コメント解除    |
| 5   | 必須       | #sudo_user = root   | sudo_user = root   | ※コメント解除    |
| 6   | 必須       | #transport = smart  | transport = smart  | ※コメント解除    |
| 7   | 必須       | #module_lang = C  | module_lang = C  | ※コメント解除    |
| 8   | 必須       | #gathering = implicit                                       | gathering = implicit   | ※コメント解除    |
| 8   | 必須       | #host_key_checking = False                                  | host_key_checking = False  | ※コメント解除    |
| 9   | 必須       | #sudo_exe = sudo  | sudo_exe = sudo  | ※コメント解除    |
| 10  | 必須       | #timeout = 10   | timeout = 10   | ※コメント解除    |
| 11  | 必須       | #ansible_managed = Ansible managed                          | ansible_managed = Ansible managed  | ※コメント解除    |
| 23  | 必須       | #deprecation_warnings = True                                | deprecation_warnings = False   | ※コメント解除+変更 |
| 12  | 必須       | #action_plugins = /usr/share/ansible/plugins/action         | action_plugins = /usr/share/ansible/plugins/action   | ※コメント解除    |
| 13  | 必須       | #callback_plugins = /usr/share/ansible/plugins/callback     | callback_plugins = /usr/share/ansible/plugins/callback   | ※コメント解除    |
| 14  | 必須       | #connection_plugins = /usr/share/ansible/plugins/connection | connection_plugins = /usr/share/ansible/plugins/connection   | ※コメント解除    |
| 15  | 必須       | #lookup_plugins = /usr/share/ansible/plugins/lookup         | lookup_plugins = /usr/share/ansible/plugins/lookup   | ※コメント解除    |
| 16  | 必須       | #vars_plugins = /usr/share/ansible/plugins/vars             | vars_plugins = /usr/share/ansible/plugins/vars   | ※コメント解除    |
| 17  | 必須       | #filter_plugins = /usr/share/ansible/plugins/filter         | filter_plugins = /usr/share/ansible/plugins/filter   | ※コメント解除    |
| 18  | 必須       | #fact_caching = memory                                      | fact_caching = memory  | ※コメント解除    |
| 24  | 必須       | #ssh_args = -C -o ControlMaster=auto -o ControlPersist=60s  | ssh_args = -o ControlMaster=no -o ControlPersist=60s -o StrictHostKeyChecking=no -o UserKnownHostsFile=/dev/null | ※コメント解除+変更 |
| 19  | 必須       | #accelerate_port = 5099                                     | accelerate_port = 5099   | ※コメント解除    |
| 20  | 必須       | #accelerate_timeout = 30                                    | accelerate_timeout = 30  | ※コメント解除    |
| 21  | 必須       | #accelerate_connect_timeout = 5.0                           | accelerate_connect_timeout = 5.0   | ※コメント解除    |
| 22  | 必須       | #accelerate_daemon_timeout = 30                             | accelerate_daemon_timeout = 30   | ※コメント解除    |
|     |          | I .   | l .  |            |

## php.ini変更簡所リスト

| pł  | ohp.ini変更箇所リスト |   |  |   |  |  |  |
|-----|----------------|---|--|---|--|--|--|
| No  | 必須/参考          | 初期値                                     | astrollインストール後   | 備考  |  |  |  |
| 1   | 参考             | output_buffering = 4096                 | output_buffering = 8192  | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。                       |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 2   | 参考             | expose_php = On                         | expose_php = Off   | PHPバージョンを隠す場合に設定を変更。                            |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 3   | 参考             | max_execution_time = 30                 | max_execution_time = 600                                       | astroll利用時にタイムアウト等発生の際はチューニングを検討。               |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 4   | 参考             | max_input_time = 60                     | max_input_time = 600   | astroll利用時にタイムアウト等発生の際はチューニングを検討。               |  |  |  |
| -   | 2.5            | max_mpac_ame oo                         | max_mpac_amo ooo   | はないが、からない。                                      |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 5   | 参考             | memory_limit = 128M                     | memory_limit = 512M  | astroll利用時にPHPのメモリ不足が発生する場合はチューニングを検討。          |  |  |  |
|     |                |   |  | M70   |  |  |  |
| 6   | 参考             | post_max_size = 8M                      | post_max_size = 1024M  | astroll利用時に大容量の登録/更新ができない場合はチューニングを検            |  |  |  |
|     |                |   |  | 討。  |  |  |  |
| 7   | 参考             | upload_max_filesize = 2M                | upload_max_filesize = 1024M                                    | astrollにてファイルアップロードしたいサイズによりチューニングを検討。          |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 8   | 参考             | default_socket_timeout = 60             | default socket timeout = 600                                   | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。                       |  |  |  |
| 0   | 2975           | derauit_socket_unieout = 00             | derauit_socket_uineout = 000                                   | はいいのほとうにはしてフェーンクを1天前。                           |  |  |  |
|     | ,              |   |  |   |  |  |  |
| 9   | 必須             | ;date.timezone =                        | date.timezone = "Asia/Tokyo"                                   |   |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 10  | 参考             | pdo_mysql.cache_size = 2000             | pdo_mysql.cache_size = 4000                                    | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。                       |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 11  | 必須             | pdo_mysql.default_socket=               | pdo_mysql.default_socket=/var/lib/mysql/mysql.sock             | astrollはPHPからPDOを利用してMySQLに接続している。              |  |  |  |
|     |                | ,                                       |  |   |  |  |  |
| 1.0 | <b>*</b> *     | 1 1 : - 2000                            | 1 1 1 - 4000   | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。                       |  |  |  |
| 12  | 参考             | mysql.cache_size = 2000                 | mysql.cache_size = 4000  | astrollの使い方に応じてデューニングを検討。                       |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 13  | 参考             | mysql.connect_timeout = 60              | mysql.connect_timeout = 600                                    | astrollの使い方に応じてチューニングを検討。                       |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 14  | 必須             | ;session.save_path = "/tmp"             | session.save_path = "/var/lib/php/session"                     | 変更後のディレクトリは作成しておく必要がある。                         |  |  |  |
|     |                |   |  | デフォルト(/tmp)は非推奨。                                |  |  |  |
| 15  | 必須             | session.gc_divisor = 1000               | session.gc_divisor = 1   | PHPセッションファイルのGCを制御する。                           |  |  |  |
|     |                |   |  | 左記の設定では、  |  |  |  |
| 16  | 必須             | session.gc_maxlifetime = 1440           | session.gc_maxlifetime = 43200                                 | session.gc_probability = 1<br>「のデフォルト値との組み合わせで、 |  |  |  |
| 10  | 必須             | session.gc_maxillecime = 1440           | session.gc_maximetime = 45200                                  | 12時間以上経過のセッションファイルを100%の確率でGCする。                |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 17  | 必須             | ;mbstring.language = Japanese           | mbstring.language = Japanese                                   | ※コメント解除   |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 18  | 必須             | ;mbstring.internal_encoding =           | mbstring.internal_encoding = UTF-8                             | ※コメント解除+変更                                      |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 19  | 必須             | ;mbstring.http_input =                  | mbstring.http_input = auto                                     | ※コメント解除+変更                                      |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 20  | 必須             | ;mbstring.http_output =                 | mbstring.http_output = UTF-8                                   | ※コメント解除+変更                                      |  |  |  |
| 20  | 20.04          | ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,  | most mg/netp_output = 011 0                                    | ハーノン・肝が・又工                                      |  |  |  |
|     | .>. ∠=         |   |  | V = 45 1 47 85                                  |  |  |  |
| 21  | 必須             | ;mbstring.encoding_translation = Off    | mbstring.encoding_translation = Off                            | ※コメント解除   |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 22  | 必須             | ;mbstring.detect_order = auto           | mbstring.detect_order = auto                                   | ※コメント解除   |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 23  | 必須             | ;mbstring.substitute_character = none   | mbstring.substitute_character = none                           | ※コメント解除   |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
| 24  | 必須             | ;openssl.cafile=                        | openssl.cafile=/etc/pki/tls/certs/astroll-it-automation-ja.crt | +   |  |  |  |
|     | 2.70           | ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, |  |   |  |  |  |
| 0.7 | .N S∓          |   |  | 4   |  |  |  |
| 25  | 必須             | ;openssl.capath=                        | openssl.capath=/etc/pki/tls/certs/astroll-it-automation-ja.crt |   |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |
|     |                |   |  |   |  |  |  |

## astroll設定ファイル説明

| No. | astroll | Ansible | Cobbler | OpenStack | DSC | AnsibleTowe |   | 説明  |
|-----|---------|---------|---------|-----------|-----|-------------|---|---|
| 1   | -       |         | 0       |           |     |             | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/backyardconfs/cobbler_driver/path_DATA_RELAY_STRAGE_side_Cobbler | Cobblerサーバにて、データリレイストレージのルートパスを定義。  |
| 2   | 0       |         |         |           |     |             | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/backyardconfs/ita_base/data_portability_running_limit.txt        | データボータビリティの、インボート処理の実行時間制限値。<br>設定値を過ぎても実行中の処理は失敗と判定する。<br>単位は秒。デフォルトは300を指定。   |
| 3   | 0       | 0       |         |           | 0   | 0           | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/backyardconfs/ita_base/hide_menu_column_list.txt                 | 代入値自動登録設定の項目表示から除外するカラムを記載する。<br>「#」始まりの行は無視される。  |
| 4   | 0       |         |         |           |     |             | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/backyardconfs/malk_option.txt                                    | システムメール(ky_mail)を利用する場合のmaikコマンドに引き渡すオブションを記載する。<br>※astrollのメール送信機能(ky_mail)を利用しない場合は不要。<br>例えば、送信先MTAを固定したい場合は「-s_smtp=xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx |
| 5   | 0       | 0       | 0       | 0         | 0   | 0           | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/backyardconfs/path_PHP_MODULE.txt                                | PHPモジュールのパスを記載。<br>例:/bin/php   |
| 6   | 0       |         |         |           |     |             | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/backyardconfs/sysmail.list                                       | システムメール(ky_mail)を利用する場合の設定を記載する。<br>※astrollのメール送信機能(ky_mail)を利用しない場合は不要。   |
| 7   | 0       |         |         |           |     |             | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/app_mail.from.txt                                    | WebDBCoreからシステムメール(ky_mail)を利用する場合に、送信元アドレスになる。<br>※00_loadtable_phpにアクション契機でメール送信する場合。<br>※astrollのメール送信機能(ky_mail)を利用しない場合は不要。                              |
| 8   | 0       | 0       |         |           | 0   | 0           | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/app_msg_language.txt                                 | astrollの使用言語を定義する。<br>日本語の場合は「ja_JP」を記載。  |
| 9   | 0       | 0       | 0       | 0         | 0   | 0           | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/do_connection_string.txt                             | MySQLへの接続文字列。<br>例:「mysql·dbname=astroll_DB:host=localhost」を暗号した文字列   |
| 10  | 0       | 0       | 0       | 0         | 0   | 0           | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/commoncorfs/db_model_string.txt                                  | <del>暗号仕様については※Fを参照</del><br>RDBの種別を定義。<br>0:OracleBB<br>1:MySQL/MariaDB  |
| 11  | 0       | 0       | 0       | 0         | 0   | 0           | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db.password.txt                                      | MySQLの接続バスワード。<br>例: 「astroil_PASSWD」を暗号した文字列。  |
| 12  | 0       | 0       | 0       | 0         | 0   | 0           | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db_username.txt                                      | <del>暗号仕様については※1を参照</del><br>MySQLの接続ユーザ。<br>例:「astroll_USERJを暗号した文学列。  |
| 13  | 0       | 0       |         |           |     | 0           | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/path_PHPSpyc_Classes.txt                             | <del>暗号仕姓については※1を参照</del><br>Spycのパスを記載。<br>本サンブル=『/usr/share/php/spyc-master』を記載   |
| 14  | 0       |         |         |           |     |             | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/path_PHPTwig.txt                                     | Twigのパスを記載。<br>例:/usr/share/php/Twig-1.34.4   |
| 15  |         | 0       |         |           |     |             | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/restapiconfs/ansible_driver/accesskey.txt                        | AnsibleサーバのRestAPII-使用するアクセスキー。<br>例:「AccessKeyId」を暗号した文字列  |
| 16  |         | 0       |         |           |     |             | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/restapiconfs/ansible_driver/secret_accesskey.txt                 | <del>四号仕様については※1を参照</del><br>AnsibleサーバのRestAPIに使用する秘密キー。<br>例:「SecretAccessKey」を暗号した文字列  |
| 17  | 0       |         |         |           |     |             | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/webconfs/admin_mail_addr.txt                                     | <del>暗号仕様については※1を参照</del><br>システム管理者の連絡先(メールアドレス)を記載。   |
|     |         |         |         |           |     |             |   | ファイルが無い場合<br>⇒「管理者へ連絡」といったリンクが無くなる  |
| 18  | 0       |         |         |           |     |             | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/webconfs/L7Protocol.txt  | astroll前段でHTTPS終端する場合など、クライアントーサーバのプロトコルが分からない場合に利用する。  |
|     |         |         |         |           |     |             |   | ファイルが存在しておりプロトコル(HTTP/INTTPS)の配載がある場合  ⇒ファイルに記載されているプロトコル(HTTP or HTTPS)が採用される  ファイルが無いまたはファイルがのパイトの場合  ⇒環境衰敗(S, SERVER)がらHTTP/HTTPSを判定する                     |
| 19  | 0       |         |         |           |     |             | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/webconfs/path_HTML_AJAX.txt                                      | HTMLAJAXのバスを記載。<br>例:/usr/share/pear/   |
| 20  | 0       |         |         |           |     |             | (astrollインストールディレクトリ)/ita-root/confs/webconfs/path_PHPExcel_Classes.txt                               | PHPExcelのパスを記載。<br>例:/usr/share/php/PHPExcel/Classes/   |

※1 base64エンコード後、rot13で変換した値